

ロタウイルスによる感染性胃腸炎の集団発生について【注意喚起】

塩釜保健所黒川支所管内の小学校において、ロタウイルスによる感染性胃腸炎の集団発生が疑われる事例の報告がありました。

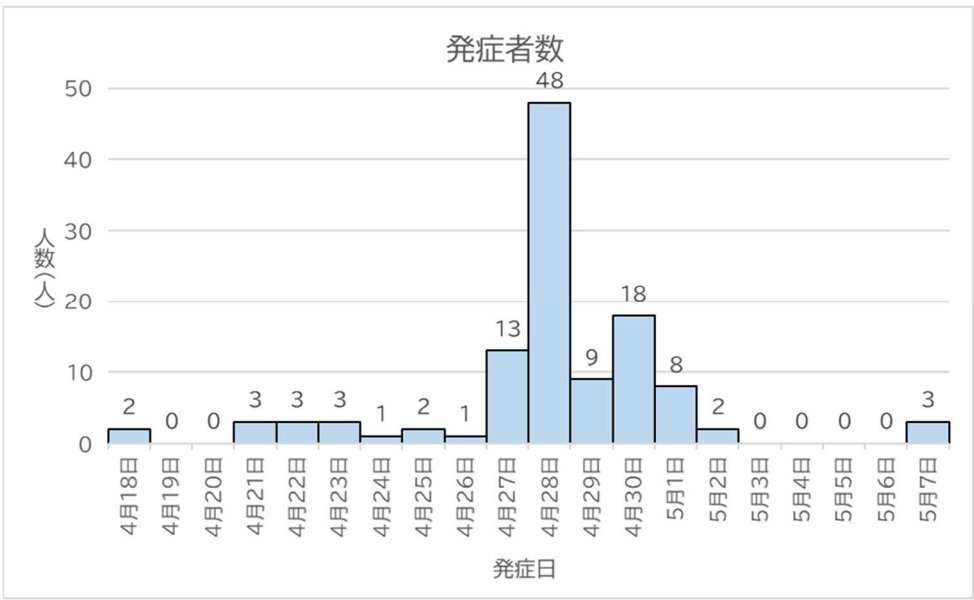
保健所で実施した調査の結果、食中毒は否定されており、通常の活動内で感染が広まったと考えられます。学校では、学校医および保健所との連携のもと感染拡大防止に向けた対応を行っております。

ロタウイルスによる感染性胃腸炎は、一般的に毎年3～5月にかけて乳幼児(0～6歳頃)を中心に流行します。ロタウイルスは感染力が強く、ごく少量のウイルスが体内に入るだけでも感染するため、集団感染を起こしやすく、集団生活の場である施設等では注意が必要です。

県民の皆様におかれましては、手洗いなどの基本的な感染対策の徹底に加えて、嘔吐・下痢などの症状が出た場合の適切な対応について改めてご確認いただきますようお願いいたします。

【発生事例】

- 1 発生施設 塩釜保健所黒川支所管内の小学校
- 2 主症状 腹痛、嘔吐、発熱、下痢、吐き気等
- 3 発症者数 116人(児童113人 職員3人)(4月18日から5月7日まで)
※入院、重症者はいない。
- 4 検査結果 採取した5検体全てからロタウイルスを確認



～ロタウイルスによる感染性胃腸炎とは～

流行時期:毎年、年末年始から流行し始め、3～5月にかけて流行のピークを迎えます。

通常、5歳までにすべての子どもが感染すると言われています。

潜伏期間:2～4日

症 状:下痢(血便、粘血便は伴わない)、嘔吐、発熱、腹痛等

何度も感染を繰り返すことで重症化に対する防御効果が高まるため、大人の場合、ほとんどが軽症ですが、乳幼児は重症化しやすく、注意が必要です。

感染経路:病原体が付着した手で口に触れることによる感染(接触感染)

予 防 策:以下の一般的な感染性胃腸炎の予防策に加え、乳幼児の重症化予防のため、ロタウイルスワクチンの定期接種も有効です。ワクチン接種については、かかりつけ医へ御相談ください。

アルコールは効果がありませんので、消毒には次亜塩素酸ナトリウムを使用しましょう。

～感染性胃腸炎の予防～

① 基本的な感染対策

- ・トイレの後、食事の前、調理の前には流水と石けんで手をよく洗う。
- ・まな板、包丁、布巾等はその都度、洗剤で洗い、熱湯等で十分消毒する。
- ・食品は十分に洗い、二枚貝を調理する場合は、中心部までよく加熱(85～90℃で 90 秒以上)する。

② 嘔吐・下痢などの症状が出た場合

- ・便や嘔吐物を処理する時は、使い捨てのマスク、手袋、エプロンを着用し、処理後は流水と石けんで手を洗う。
- ・衣類が便や吐物で汚れた時は、次亜塩素酸ナトリウムでつけ置き消毒し、他の衣類と分けて洗濯する。
- ・トイレのドアノブや手すりなど、多くの人が触れる場所は次亜塩素酸ナトリウムで拭き取り消毒*する。

*次亜塩素酸ナトリウムは金属を腐食させるため、拭き取り後、10 分程度したら水拭きする。

国立健康危機管理研究機構 感染症情報提供サイト「ロタウイルス感染性胃腸炎」

<https://id-info.jihs.go.jp/diseases/ra/rotavirus/010/rota-intro.html>



厚生労働省「ロタウイルスに関する Q&A」

<https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/Rotavirus/index.html>



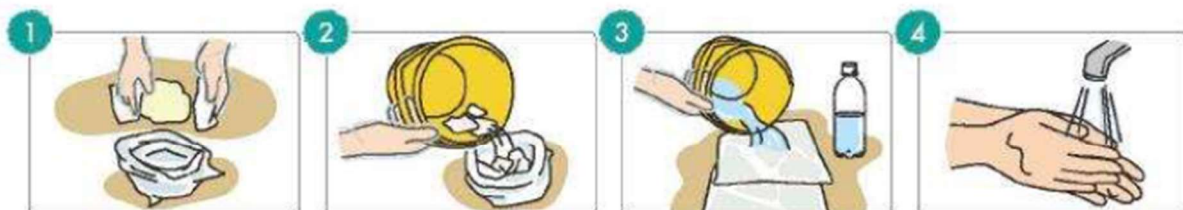
おう吐物・ふん便の処理はどうする

準備する物

使い捨て手袋／ビニール袋／マスク／ガウンやエプロン
拭き取るための布やペーパータオル／塩素系漂白剤（次亜塩素酸ナトリウム）

はじめに使い捨て手袋とマスク、エプロンを着用します。

（使い捨て手袋がない場合は、ビニール袋等をかぶせ、直接手で触れないように工夫する。）



汚物（おう吐物・ふん便）は、布やペーパータオル等で外側から内側に向けて、汚れた側を折り込みながら静かにぬぐり取ります。

使った布やペーパータオル等はすぐにビニール袋に入れ、袋の口を閉じ処分する。

汚物がついた床とその周囲は、0.1%次亜塩素酸ナトリウムを染みこませたペーパータオル等で浸すように拭く。

手袋等はずし、十分に手洗い、うがいをする。衣服やシーツ等が汚れた場合は、手洗いして洗濯する。

同じ面ですると汚染を広げてしまうので拭き取り面を折り込みながらぬぐいとります。

ビニール袋内に0.1%次亜塩素酸ナトリウムをペーパータオル等に染みこむ程度に入るとよい。

フローリングやカーペットなど材質によって変色する可能性がありますので、確認してから消毒してください。



その他の注意点

きちんと拭き取りすることがまず大事です。

処理をする時とその後は、部屋の窓を開けるなどして換気をよくしてください。

下痢をしている人がいる時は、トイレのドアノブも消毒してください。

カーペットの消毒方法(例)

①～④の手順で、熱による殺菌をしましょう。

②ペットシーツに熱湯を含ませる

④タオルを2枚重ねて被せ、保温

③レジャーシートで覆う

①ペットシーツを被せる

吐物痕

カーペット

カーペット等消毒しにくい物は、スチームアイロンやペットトイレ用ペーパーシートに熱湯を含ませて覆う等熱で殺菌する方法もあります。

- ・殺菌には、カーペットの深部で60℃以上、5分以上の加熱が必要です。十分に加熱時間を確保して下さい。
- ・カーペットの素材・厚さやペットシーツの種類により加熱効果は変わります。
- ・片付けの際には、やけどに注意して下さい。

（出典）

- ・「感染予防ガイドブック 初版（2012年2月）」
東北大学大学院医学系研究科内科病態学講座 感染制御・検査診断学分野
東北大学大学院医学系研究科 感染症診療地域連携講座
- ・富山県「ノロウイルスによる食中毒を予防しよう!!」（食品衛生研究VOL62より）」

手洗いをして感染症を予防しましょう。

手洗いの手順

○手を洗う前には、指輪や腕時計を外しましょう。

○お子さんが手を洗うときは、大人が付き添ってあげましょう。



1

石けんをつけ、
手のひらを合わせて
よく洗います。



2

手の甲を伸ばす
ように洗います。



3

指先・爪の間を
よく洗います。



4

指の間を十分に
洗います。



5

親指と手掌を
ねじり洗い
します。



6

手首を洗います。



7

流水でよく手を
すすぎます。



8

清潔なタオルで
(共用はしません)
よく拭きます。



汚れが落ちにくい
ところ



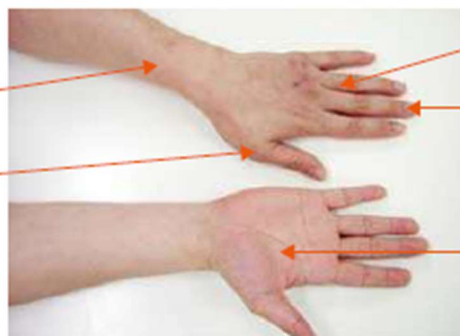
手首

親指

指の間

指の先

手のしわ



宮城県保健福祉部疾病・感染症対策室

東北大学大学院医学系研究科 感染制御・検査診断学分野、感染症診療地域連携講座